

施工説明書

ヒーリング ステーション システム

Healing Station System

STALLION II B 壁付仕様

スタリオン II B

T904-00

業務用

洗髪用

目次

[1] 梱包明細	1-2項
[2] 各部の名称	2-3項
[3] 設置の前に	4-5項
[4] 使用条件	5項
[5] 設置スペースの確認	6項
[6] 施工時のシャンプーベッシンの取扱い方法	6項
[7] 設置	6-10項
[8] ストップバルブの使用法	11項
[9] ミキシングバルブの使用法	11項
[10] 通水テスト	11-12項
[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認	12項
[12] ミキシングバルブの調整方法	12項
[13] ベッシンのコーキング(シーリング)処理	13項
[14] 設置が終わったら	13項
[15] 定格仕様・寸法	14項
[16] 工事完了後の点検項目	裏表紙



施工の前にこの施工説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。

施工終了後は裏面の「工事完了後の点検項目」を記入して頂き、この施工説明書をサロン様にお渡しください。

この施工説明書はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この施工説明書はトラブルを未然に防止するために注意事項が表示してあります。
全て安全に関する内容ですから必ずお守りください。



誤った取扱いをすると、人が損害を追う可能性、あるいは
物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置時にベッシンの本体カバーを持って移動しないでください。
本体カバー(樹脂部品)が破損する恐れがあります。



施工には付属品の専用元バルブを必ず取付けてください。

TAKIGAWA

[1] 梱包明細



①シャンプーユニット本体



②バックハンガー



③バックハンガー固定用
タッピングビス
M6×65mm 8本



④ベッシン固定ボルト
M8ボルト・平ワッシャー
袋ナット各4個



⑤シャワーホース
ゴムパッキン付属



⑥専用元バルブ
給水・給湯用 2個
止水栓に逆止弁とストレーナが
組み込まれたスタリオンII B専用品



⑨防臭キャップ



⑦排水栓本体ASSY
明細は9ページに別記



⑧PトラップASSY
明細は9ページに別記



⑩エルボ 2個
ミキシングバルブ接続用



⑪メッキ付エルボ 2個
専用元バルブ接続用



⑫両ニップル30mm 2個



⑬ワン座 2個



⑭シャワー接続管300mm

ミキシングバルブとストップバルブの接続用



⑮バルブ接続管200mm(給水側専用)

給水側のミキシングバルブと専用元バルブの接続用



⑯保温材付フレキ管230mm (給湯側専用)

給湯側のミキシングバルブと専用元バルブの接続用



⑰13mmノンアスパッキン 4枚

(⑩エルボ ⑪メッキ付エルボ専用)

※⑭⑮⑯にも2枚ずつ別添されています。



⑱専用スパナ23H×24H



⑲排水栓締付け金具

⑱専用スパナ及び⑲排水栓締付け金具はサロン様に保守用工具として保管をお願いして下さい。

[2]各部の名称

正面

シャワーヘッド

シャワーソケット

シャワーホース

本体カバー

Pトラップ

ストップバルブ

シャンプーベッシン

ミキシングバルブ

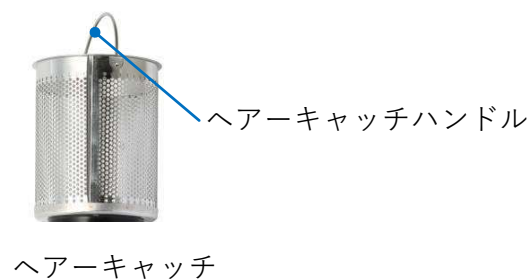


[2]各部の名称

側面



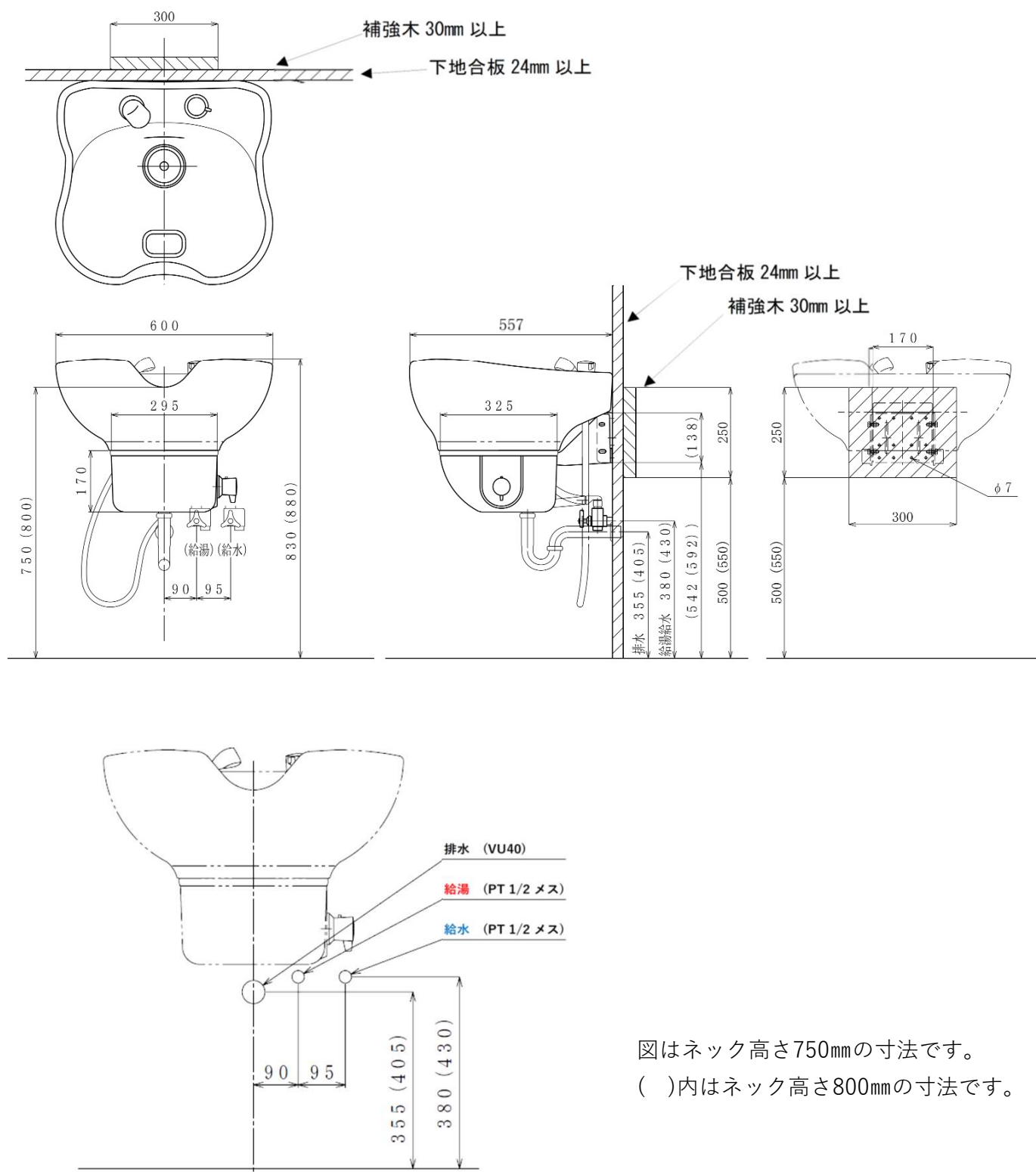
シャンプーベッシン



[3]設置の前に

現場の確認と給排水位置図とシャンプーベッシンの取扱い方法

- ・壁面の下地には24mm以上のJAS規格合板(相当)を使用し、バックハンガー取付け部には30mm以上の補強木を追加して、この部分の厚さを50mm以上確保してある事を確認後に施工してください。



図はネック高さ750mmの寸法です。
()内はネック高さ800mmの寸法です。

[3]設置の前に

配管施工について

内容を十分に理解した上で、正しい配管の施工をお願い致します。

- ・給水配管
市水道直圧の場合、市水道直圧以外(高架水槽等を介す)の場合、いずれもその地域の水道局指定工事店に依頼して、その地域の水道局施工基準等の法規に従って工事を行なってください。
- ・給水配管はVP管・H I 管・硬質塩化ビニルライニング鋼管等を使用してください。
錆の発生する材料の使用は避けてください。
- ・給水管・給湯管の取出し口は専用元バルブの脱着に必要な取付け強度を確保してください。
- ・給水管・給湯管の専用元バルブ接続部分は13mm (1/2) 2台以上を並列使用の場合、壁面内は20mm (3/4) 以上の配管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- ・排水管の接続部VU40 2台以上を並列使用の場合壁面内はVU50以上の排水管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- ・排水管には勾配を設けてください。
- ・給水管・給湯管は同径にて施工してください。
- ・給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ・給湯配管は銅管を使用してください。
- ・給湯器からの給湯配管は最短距離で接続してください。
- ・水栓取付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。
破損や水漏れの原因となります。
- ・配管接続後の通水テスト後に必ず、ストレーナとシャワーヘッドの清掃をしてください。
- ・通水検査を実施していますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

[4]使用条件

給水・給湯について

- ・給水は上水道を使用してください。(井戸水等使用不可)
- ・給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力に減圧してください。
①最低必要圧力=0.1MPa シャンプーユニットを数台並列配管して同時使用する場合、1台あたりの水圧がシャンプーユニット接続部において動水圧0.1MPa以下にならないようにしてください。
②適正圧力=0.2~0.3MPa (シャンプーユニット1台あたり)
- ・シャワー流量が多い場合は、専用元バルブで適度な流量に調節してください。

○参考値…シャンプーユニット接続部における給水・給湯圧力の違いによるの40℃のシャワー流量

給水圧力(MPa)	給湯圧力(MPa)	流量(ℓ/min)
0.10	0.08	8.5
0.15	0.10	9.5
0.15	0.15	11.0
0.20~0.30	0.20	13.0

給湯器設定温度=60℃ ミキシングバルブ設定温度=40℃ 水温15℃時

※シャワー流量は設置条件(給湯器・配管距離・配管径等)により異なり、上記の数値は目安です。

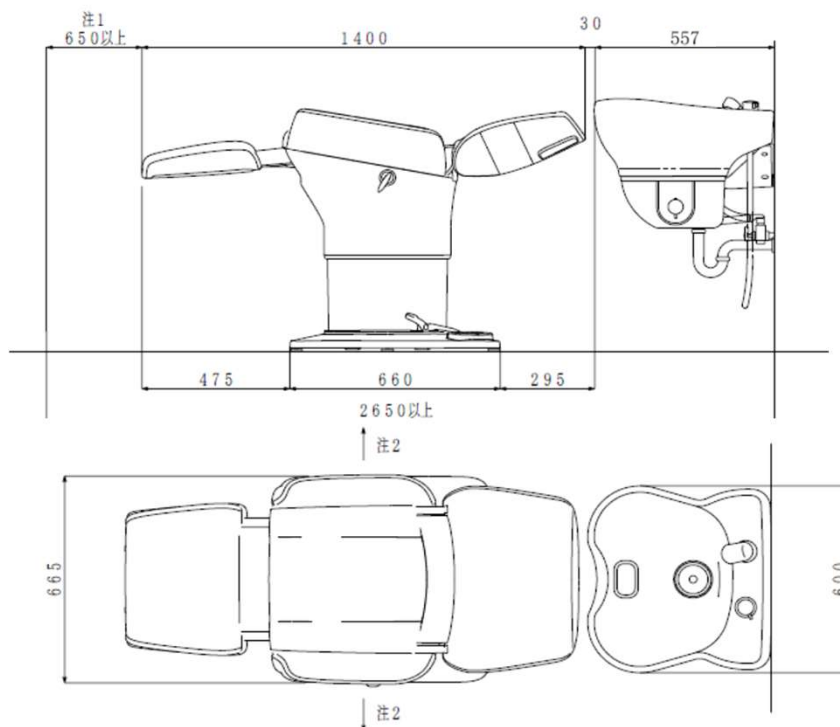
- ・給湯温度はご使用になる温度より10℃程度高く設定してください。 ○推奨給湯温度=50℃~60℃
- ・使用条件(使用台数)を加味し適正な能力の給湯器をご選択ください。

給湯器の給湯能力が不足しますと適正な吐水量及び吐水温度が得られない原因となります。

○参考・・・ガス瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号相当の給湯器1台でシャンプーユニット1台分の給湯能力になります。

- ・給湯源に標準圧力型電気温水器をご選択の場合、給湯圧力が低く適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ・給湯器にエコキュート(ヒートポンプ式高圧力型)を使用する場合、設定温度を65℃にしてください。
65℃以上の設置温度で使用すると、水栓金具の破損や漏水の原因となります。

[5] 設置スペースの確認



注1 レッグレスト先端から壁面又は家具まで650mm以上 フットケアをされる場合は1000mm以上

注2 600mm以上(通路を含む場合は800mm以上) ハンドケアをされる場合は1000mm以上
シャンプーチェアはリザーブ マルチチェア RS-002の寸法図です。

[6] 施工時のシャンプーベッシンの取扱い方法

1. ベッシンを床に仮置きする場合は
背面を下にします。 [写真6-A]

2. ベッシンを壁面に取付ける時に
ベッシンの両側を持って取付けます。

[写真6-B]



[写真6-A]



[写真6-B]



設置時にベッシンの本体カバーを持って壁面に取付けをしない。
本体カバー（樹脂部品）が破損します。

[7] 設置

1. 専用元バルブと防臭キャップを取付けます。 [写真7-A]

給湯と給水の接続口は専用元バルブの脱着に必要な取付け強度を
確保してください。



[写真7-A]



純正品以外の専用元バルブは絶対に使用しない。
シャンプーユニットに接続する前に必ず、ゴミ、砂、油等の配管
内のくずを除去した後に接続管を取付けます。

[7]設置

2. バックハンガーを壁面に仮止めします。

- ①床からバックハンガーの下面が542mmになる様に2本の
タッピングビスでバックハンガーを固定します。[写真7-B]
ネック高さが800mmの場合はバックハンガーの下面は592mmです。
- ②ベッシンの仮止め時にベッシンのステーで壁面に傷を付けない為に
バックハンガーの左右に養生テープ等を貼って作業をします。



[写真7-C]

- ③バックハンガーとベース板には製造番号を記入したラベルが貼って
あります。必ずこの番号を合せて取付けます。[写真7-D]



ベッシンとバックハンガーの番号を合わせずに取付けを
すると、ベッシンが傾いて取付いたり、ベッシンがバック
ハンガーに収まらずにベッシンが破損します。



[写真7-D]

3. ベッシンをバックハンガーに取付けてネック高さの確認をします。
ネック高さが所定の高さと異なる場合はバックハンガーの位置を
調整した後に6本のタッピングビスでバックハンガーを壁面に
完全に固定します。[写真7-E][写真7-F]

※ベッシンと壁面との間には1mm程度のスキマがあります。



[写真7-E]



[写真7-F]

4. ベッシンを壁面に取付けた後は直ちに4本のボルトでベッシンと
バックハンガーを固定してください。 [写真7-G]



ベッシンは4本のボルトで壁面に固定される構造です。
ベッシンをボルトで固定されずに作業を進めると、
ベッシンが破壊する恐れがあります。



[写真7-G]

5. 給水・給湯部品を取付ける。

取付けには付属の専用スパナ（23H×24H）を使用します。[写真7-H]



[写真7-H]

- ①保温材付フレキ管230mmのミキシングバルブ側にエルボを
専用元バルブ側にメッキ付きエルボを仮締め状態で取付け
ミキシングバルブの給湯側(赤印側)と専用元バルブの給湯側を
接続します。[写真7-I]

※保温材フレキ管は無理のない形状に曲げてご使用ください。



[写真7-I]

- ②バルブ接続管200mmのミキシングバルブ側にエルボを
専用元バルブ側にメッキ付きエルボを仮締め状態で
取付け、ミキシングバルブ側の給水側(青印側)と
専用元バルブの給水側を接続します。

バルブ接続管の長さ調節はエルボの取付け角度でおこないます。

[写真7-J]



[写真7-J]

- ③給湯側の保温材付フレキ管230mmと給水側のバルブ接続管200mmを
本締めをします。

- ④ストップバルブとミキシングバルブの混合水出口側に
シャワー接続管300mmを取付けて本締めをします。

[写真7-K]



[写真7-K]



底面より

給湯口(赤印側)

シャワー接続管
(混合水出口)

ミキシングバルブ

給水口(青印側)



本体カバーは樹脂製です。配管接続時に本体カバーに強い力を
加えますと破損する場合があります。

[7]設置

6. シャワーホースを取付ける。

- ①シャワーホースはベース板の外側を通して、ストップバルブ本体に表示されている「シャワーホース」側に取り付けます。[写真7-L] [写真7-M]



本体左側面より[写真7-L]



本体右側面より[写真7-M]

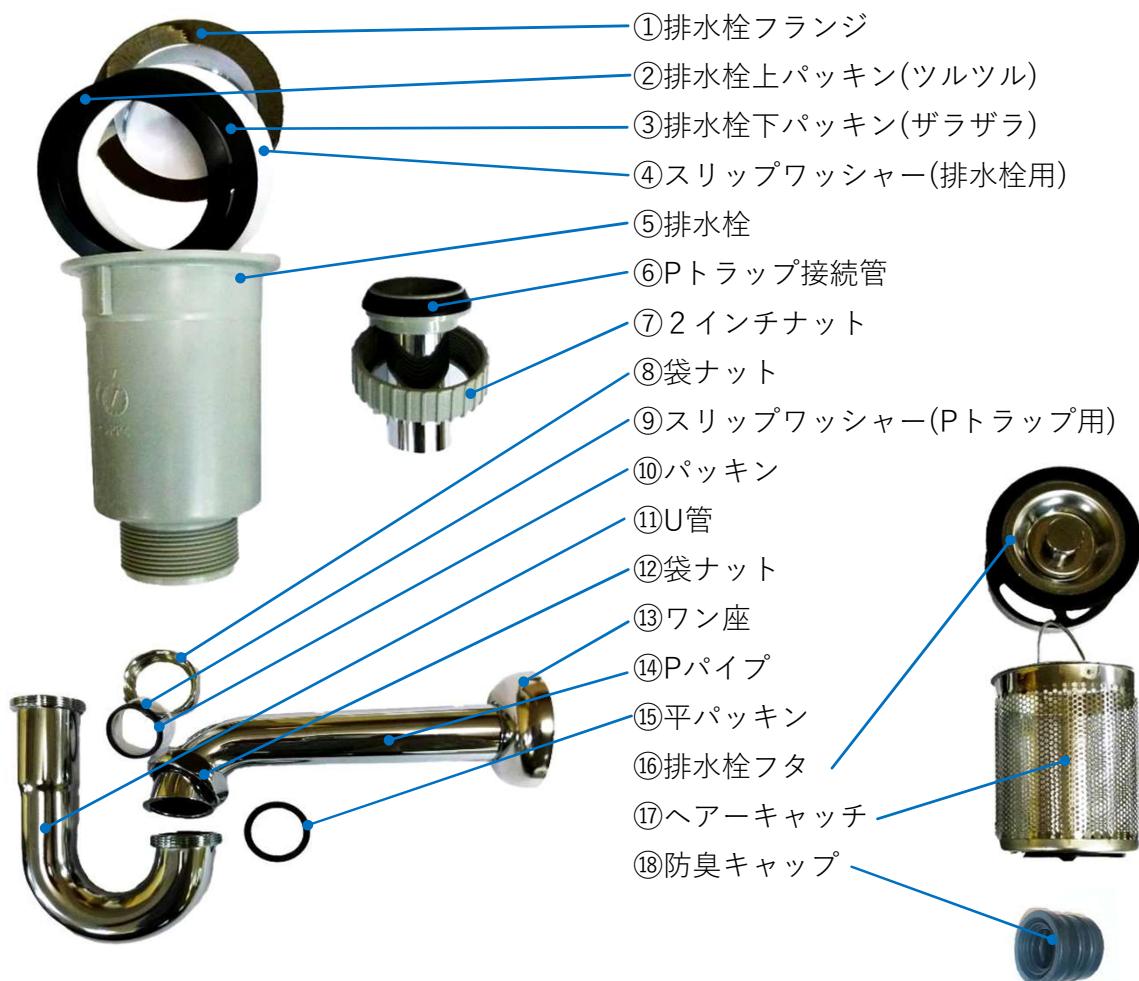
- ③シャワーホースはねじれが生じない様に取り付けます。

※ 壁面に対してシャワーホースの左右が平行になる様に取り付けます。



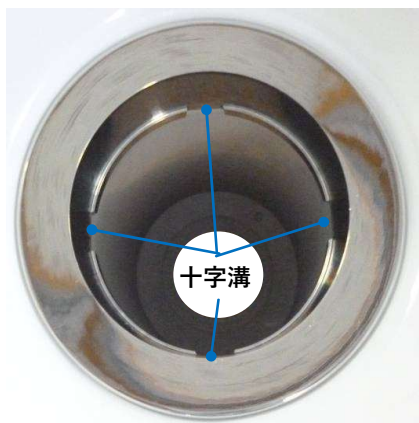
シャワーホースにねじれが生じたまま取付けると
シャワーホースの出し入れがスムーズに行えません。

7. 排水栓ASSY・PトラップASSY明細



8. 排水栓を取付ける。

- ① ①排水栓フランジに②排水栓パッキン（ツルツル）を取付ける
- ② ⑤排水栓本体に③排水栓パッキン(ザラザラ)と④スリップワッシャーを載せて
①排水栓フランジの十字溝がベッシンに対して正面に来る様に⑤排水栓本体を
手締めします。[写真7-N]
- ③ ⑤排水栓を排水栓締付け金具で本締めします。[写真7-O]
- ④ ⑰ヘアーキャッチを⑤排水栓の中に収納して、⑱排水栓フタを取付けます。



[写真7-N]



[写真7-O]

排水栓締付け金具

9. Pトラップ管を取付ける。[写真7-P]

- ① ⑥Pトラップ接続管に⑧袋ナット⑨スリップワッシャー⑩パッキンを入れて
⑪U管に挿入して⑧袋ナットを軽く締めます。
- ② ⑭Pパイプに⑫袋ナットを入れて⑪U管の間に⑮平パッキンを入れて軽く締めます。
- ③ ⑭Pパイプに⑬ワン座を入れて排水口に挿入します。
- ④ ⑤排水栓に仮り組みしたPトラップを取付けた後に各部を本締めします。

※シャワーホースはPトラップ接続管の
上を通るようにします。



[写真7-P]



シャワーホースがPトラップ接続管の上を通らないと
シャワーホースの出し入れがスムーズに行えません。

[8]ストップバルブの使用方法

- ・反時計回りに回すとシャワー口から吐水します。[写真8-A]
- ・時計回りに回すとシャワーが止まります。[写真8-B]



[写真8-A]

止水時のストップバルブ位置



[写真8-B]

シャワー吐水時のストップバルブ位置

[9]ミキシングバルブの使用方法

- ・反時計回りに回すとシャワー温度が高くなります。
- ・時計回りに回すとシャワー温度が低くなります。
ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。
- ・ミキシングバルブには誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。
- ・ミキシングバルブは42℃近辺の目盛でロックされます。
- ・42℃以上のシャワーを出すときは安全ボタンを押しながらミキシングバルブを反時計回りに回します。[写真9-A]

安全ボタン



[写真9-A]

ミキシングバルブ

[10]通水テスト

1. 通水してシャンプーユニットの接続部の水漏れをチェックします。



専用元バルブ・ミキシングバルブ・各接続管類・エルボ・排水栓・Pトラップ・シャワーホースの各部をチェックする。

2. 通水後シャワーに濁りがなくなった後、ストレーナとシャワーヘッド内部を清掃します。[写真10-A] [写真10-B] [写真10-C]

- ①専用元バルブ(給水・給湯)を閉じます。ハンドルを時計回りに回します。
- ②ストレーナのキャップを反時計回りに回してストレーナを取出し清掃します。
- ③専用元バルブ内部のゴミを除去します。
- ④ストレーナを本体に戻します。
- ⑤専用元バルブ(給水・給湯)を開き、シャワーを出します。
- ⑥シャワーヘッドを外してシャワーヘッド内部をシャワーで洗い流します。

3. 給湯、給水圧力は同圧又は一定であるか、チェックします。
4. 給水・給湯の圧力バランスが悪い時は専用元バルブで流量を調節します。
5. 温度調整が正常にあるかチェックします。



[写真10-A]

専用元バルブ



[写真10-B]

ストレーナ



[写真10-C]

シャワーヘッド

[11]シャワー圧力・シャワー流量の確認

- ・シャワー流量が12ℓ/minを超える場合は専用元バルブにて給水・給湯の流量を調節してください。

[12]ミキシングバルブの調整方法

- ・ミキシングバルブがダイヤル通りのお湯が出ることを確認してください。
- ・取付け現場の給湯器の種類や給水・給湯の圧力差等の状況によってはダイヤル通りのシャワー温度にならない場合があります。

この場合は以下の手順でミキシングバルブの調整をします。

例：シャワー温度が40℃の時にミキシングバルブの安全ボタンが

40℃の位置を示さない場合にミキシングバルブの位置を変更します。

[写真12-A]



[写真12-A]

- ① 40℃のシャワー温度がでる位置にミキシングバルブを回す。
- ② ①の位置でミキシングバルブを引っ張り、取外します。

[写真12-B]



[写真12-B]

- ③安全ボタンを40℃の位置に合わせ、ミキシングバルブを取付けます。[写真12-C]



[写真12-C]

[13]ベッシンのコーキング(シーリング)処理

ベッシンと壁面の隙間にコーキング処理をしてください。

- ①ベッシンと壁面の汚れを取り除きます。

[写真13-A]

- ②ベッシンと壁面にマスキングテープを貼ります。

[写真13-B]

- ③シーリング材をベッシンと壁面の隙間に充填します。

[写真13-C]

- ④はみ出したシーリング材は速やかに除去します。

[写真13-D]

- ⑤マスキングテープを除去します。

[写真13-E]

※シーリング材はシリコン系のクリア色をお勧めします。

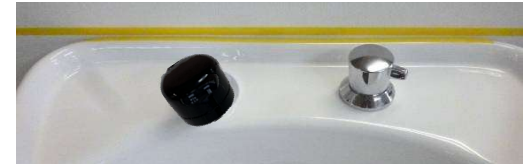
以上で工事の完了です。



コーキング処理を行わないと、シャワーが壁面との隙間から入り、バックハンガー等のメッキ部分の腐食原因となります。



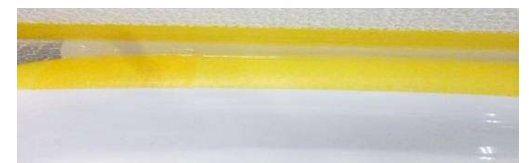
[写真13-A]



[写真13-B]



[写真13-C]



[写真13-D]



[写真13-E]

[14]設置が終ったら

以下の項目を点検してください。

- ①シャンプーユニットと壁面にガタつきは無いか。

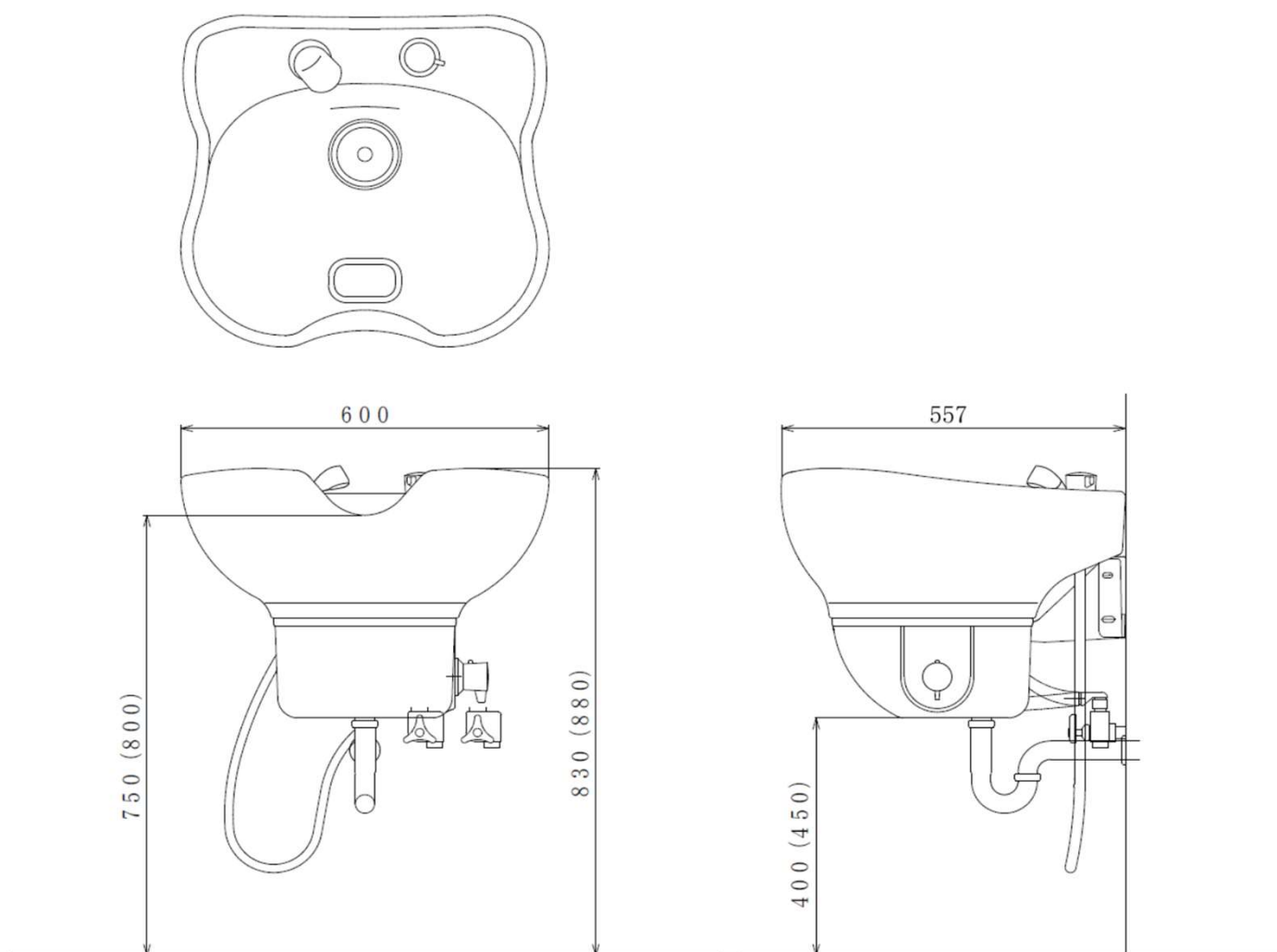
- ②各部の水漏れ再検査。

(ストップバルブ・ミキシングバルブ・給水・給湯の各接続部及び排水栓・Pトラップ)

工事終了後、本書及び取扱説明書、専用スパナ、排水栓締付け金具はサロン様にお渡しください。

[15]定格仕様・寸法

■定 格 仕 様	ス タ リ オ ン
商 品 名	:STALLIONⅡ B 壁付仕様
型 式 番 号	:T904-00-1
外 形 寸 法	:幅 600mm × 奥行 557mm × 高さ 430mm
重 量	:約 28kg
温 度 制 御	:サーモミキシングバルブ(形状記憶合金方式)



[16]工事完了後の点検項目（施工工事店様記入箇所）

・施工完了証

本製品の施工に伴い以下を確認致しました（点検項目「□」に「☑」を入れてください）	
施工完了日： 年 月 日	
工事店様	〒 □□□ - □□□□ TEL: - -
	店名 担当：

- ・点検項目（「□」に「☑」を入れてください）
 - シャンプーベッシンはバックハンガーに4本のボルトで固定されている事。
 - 給水・給湯の専用元バルブはスタリオンⅡB専用の付属品が取付けられている事。
 - エコキュートを設置する場合には、沸き上がり温度は低温側（65℃）で設定されている事。
 - 給水・給湯管～ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。
 - ストップバルブ接続部及びシャワーホース、ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。
 - 封水トラップ取付け部～Pトラップの接続部に水漏れの無い事。
 - 本体の設置にガタつきの無い事。
 - シャンプーベッシン(陶器)にヒビ・欠けの無い事。シャーシー(本体)に傷・へコミ等が無い事。

・サロン様へ

漏水によるトラブルに際しましては上記工事店様への相談にあわせて、下記の最寄りの営業所へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

販売元
滝川株式会社
<http://www.takigawa.co.jp>

本社
〒111-8511 東京都台東区元浅草3-2-1
TEL：03-3845-2111 FAX：03-3845-0123

大阪営業所
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-2-4日本生命御堂筋ビル3F
TEL：06-6243-1260 FAX：06-6243-1261

名古屋営業所
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-14-31 栄オークリッジビル8階
TEL：052-857-1177 FAX：052-857-1188

札幌営業所
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西3-11 北洋ビル2F
TEL：011-208-3355 FAX：011-219-0330

福岡営業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4 東京建物博多ビル1階
TEL：092-432-4321 FAX：092-432-4324

製造元
株式会社サンスターステンレス